

防衛北海道

Bouei Hokkaido
February 2013
Hokkaido
Defense Bureau
Ministry of Defense



Vol.26



Photo: 雪煙を上げて千歳基地を離陸する政府専用機
(提供: 航空自衛隊千歳基地)

苫小牧市で防衛問題セミナーを開催します

北海道防衛局では、2月13日(水)に苫小牧市文化会館(苫小牧市旭町2丁目8番19号 TEL 0144-36-7823)において、「津波被害の特性と大規模災害への備え」と題して、防衛問題セミナーを開催します。

今回は、防衛大学校 システム工学群建設環境工学科 藤間功司 教授と北部方面総監部 幕僚副長 川崎朗 陸将補を講師に招き、藤間教授からは津波被害の特性について、川崎陸将補からはこれまでの自衛隊による災害派遣の活動や今後の対策等について、それぞれ講演していただく予定です。当日は入場無料で、事前の申し込みも不要ですので、お気軽に御参加ください。

また、当該セミナーについては、北海道防衛局のホームページにも掲載しておりますので御覧ください。

※開催時間: 18:00~20:00(開場 17:30)

【連絡先】北海道防衛局 企画部 地方調整課 地方協力確保室 (TEL: 011-272-7571)

【ホームページアドレス】<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>

北海道防衛局

検索

編集・発行 防衛省北海道防衛局 広報誌等編集委員会

札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎

Tel.011-272-7579

<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>

北海道防衛局長新年御挨拶



島川 正樹 北海道防衛局長

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては御家族お揃いで、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より北海道防衛局への御支援と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年の干支は「巳」です。動物にすると「蛇」になりますが、蛇は脱皮をすることから「復活と再生」を象徴するともいわれています。本年は、干支にちなみ、東日本大震災からの復興に更なる弾みがつくことを祈って止みません。

さて、昨年、尖閣諸島や竹島をめぐる問題、また北朝鮮による「人工衛星」と称する弾道ミサイル発射問題など、我が国を取り巻く安全保障環境は益々不透明さを増しております。

防衛省・自衛隊は、我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つことが任務であることから、これまで我が国の防衛力整備と日米安全保障体制の維持に努めてまいりました。

北海道には、これらの基盤となる重要な防衛施設が数多く所在しています。

北海道における防衛行政の拠点である北海道防衛局は、本年も、防衛省・自衛隊と地域の皆様を結ぶ架け橋として、これら防衛施設の安定的使用を確保するとともに、周辺地域とのより一層の調和を図ることに取り組んでまいります。また、防衛省・自衛隊の活動を広く道民の皆様にご覧いただくため、防衛問題セミナー等を通じて防衛省の諸施策についての御説明を行い、防衛施設周辺自治体・地域住民の皆様の御理解、御協力を賜るべく引き続き努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

北海道防衛局長から感謝状贈呈

平成24年度の自衛隊記念日行事の一環として、恵庭市長 原田 裕 氏及び名寄市長 加藤剛士 氏の両名に対し、市長就任以来、国防に対し深い理解を示し、所在する防衛施設の安定的使用に多大な尽力をされたこと、また、防衛問題セミナーの開催に当たり、積極的な協力を行われたことから、島川 北海道防衛局長から感謝状を贈呈しました。



加藤 剛士 名寄市長



原田 裕 恵庭市長

第7回 矢臼別演習場・風蓮川水系 土砂流出対策等検討委員会開催

平成24年11月6日、別海町役場において第7回矢臼別演習場・風蓮川水系土砂流出対策等検討委員会（委員長：新谷 融 北海道大学名誉教授）が開催されました。

この委員会は陸上自衛隊矢臼別演習場内の風蓮川支流において、「幻の魚」と呼ばれている絶滅危惧種であるサケ科イトウの産卵ふ化が確認されたことから、流域の環境保全に配慮した土砂流出対策の検討の資とする提言を得るため、平成20年5月に北海道防衛局と別海町が共同で設置したものであり、今回で7回目の開催となりました。

当日は、同委員会の提言を受け平成23年3月にスリットダムへの改良工事を終えた玉川1号ダム、楓沢2号ダムのほか、土砂が直接河川へ流れ込むのを防ぐ沈砂池などを視察後、新谷委員長をはじめ有識者6名の委員が出席して会議が行われました。会議では、事務局からイトウの産卵床調査など流域環境モニタリングの中間結果が報告され、土砂生産源対策のあり方及び玉川、楓沢以外の既設ダムの今後の対策方針について議論が行われました。

なお、委員からは「イトウの産卵床が増加しており、スリットダムへの改良の効果認められる」、「ダムのスリット化は緊急対応に過ぎず、ほかにも色々な改良の方法を検討しなければならない」などの意見が出されました。

同委員会は、来年度の風蓮川流域の環境モニタリング調査や矢臼別演習場内における土砂生産源の状況調査を踏まえ、土砂流出対策等について検討することとしています。

なお、本委員会の議事要旨は、北海道防衛局のホームページに掲載しています。

<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



討議状況

新谷委員長



玉川で確認された
イトウのペア



玉川1号ダム
視察状況



玉川流域
生産源対策工（沈砂池）

イトウとは

サケ目サケ科イトウ属イトウ
環境省「汽水・淡水魚類のレッドリスト」：絶滅危惧ⅠB類
（A種ほどではないが、近い将来絶滅の危険性が高い種）
水産庁「日本の希少な野生生物に関する基礎資料」：希少種
北海道「北海道レッドリスト」：絶滅危惧種（Cr）
（絶滅の危機に直面している種又は亜種）

スリットダム への改良工事

イトウなどの魚類が上流へ遡れるように、既設の砂防ダムのコンクリート断面に切れ込みを入れる（切り下げる）工事で、矢臼別演習場では上記2箇所のダムと別寒辺牛川水系のトライベツ川ダムにそれぞれ幅2mのスリットを入れる改良工事を実施している。

北海道防衛施設地方審議会開催

平成24年11月12日、札幌第3合同庁舎において、北海道防衛施設地方審議会が開催されました。

同審議会は、北海道防衛局長からの諮問に応じ、自衛隊の施設等に係る不動産等の額や自衛隊等の使用により損失が生じた場合の補償額等に関する事項について審議する機関として、北海道防衛局に置かれているものです。

今回の審議会は、同年11月10日の任期満了に伴い、新たに任命された7名の委員（再任を含む。）の方々が一堂に会し、委員の互選による審議会会長の選出を主たる目的として開催されたものであり、その結果、石崎 岳 委員（学校法人北海学園特任教授）が新会長に選出されました。

その後、局長、次長、各部長及び防衛補佐官のほか担当職員も同席し、局長及び会長の挨拶に続き、次長から当局管内の防衛施設の概要及び当局の業務について説明が行われました。

会議終了後、陸上自衛隊北部方面総監部及び陸上自衛隊北部方面航空隊の協力を得て、札幌市内に所在する陸上自衛隊丘珠駐屯地を訪れ、駐屯地司令（北部方面航空隊長）への表敬、駐屯地の概況説明を受けた後、史料館及び航空管制塔並びに主要装備品（連絡偵察機：LR-2、観測ヘリコプター：OH-1）を視察し、防衛行政に対するより一層の理解と知見を深めていただきました。



審議会（北海道防衛局の業務説明）



現地視察（装備品OH-1）

米軍航空事故等連絡会議開催

平成24年12月5日、札幌第3合同庁舎において、千歳基地に係る米軍航空事故等連絡会議が開催されました。

この会議は、千歳基地及びその周辺において米軍による航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合等の対処に万全を期すため、関係機関相互間の緊密かつ迅速な連絡調整体制の整備等について連絡協議することを目的として、平成19年1月29日に設置されました。

当日の会議は、北海道をはじめ、千歳市、苫小牧市など千歳基地周辺の8市町及び関係消防、警察並びに第一管区海上保安本部、陸上自衛隊北部方面総監部、航空自衛隊第2航空団の計19機関22名と北海道防衛局担当者9名を合わせた31名の危機管理担当者が出席し、冒頭の当局管理部長挨拶に続き、業務課長から千歳基地に係る米軍航空事故等に関する緊急措置要領及び日本国内における合衆国軍隊の使用する施設・区域外での合衆国軍用航空機事故に関するガイドラインの概要等の説明を行いました。

また、危機管理対応の参考としていただくため、総合調整官から「東日本大震災における陸上自衛隊北部方面隊の活動状況」のDVD視聴を交え、当該活動に従事した際の体験談・教訓について講話を行うとともに、各自治体等の危機管理担当者が会した機会を活用し、企画部長から当局が取り組んでいる基地対策業務の説明を行いました。



会議の状況

南スーダン国際平和協力業務の帰国報告会

～派遣技官から活動等の報告～

平成24年12月4日に防衛省装備施設本部（東京・市ヶ谷）から南スーダン国際平和協力隊任務に従事した技術職員である防衛技官（以下「技官」といいます。）2名が来道し、5日に帯広防衛支局で、6日に北海道防衛局で報告会が実施されました。

防衛省（防衛庁当時を含む。）では、これまでもイラク人道復興支援業務やハイチ大地震で被災した国連ハイチ安定化ミッション

（MINUSTAH：United Nations Stabilization Mission in Haiti）の現地国連施設の応急危険度判定業務に土木、建築等の技官を派遣しています。

装備施設本部では、今回、国連南スーダン共和国ミッション（UNMISS：United Nations Mission in South Sudan）に第1次隊から同本部に所属する土木、建築等の2名の技官を現地支援調整所要員として約4か月交代で首都ジュバに派遣しており、現在も2名の第3次要員が活動中です。

来局した両名は、現地支援調整所長の指揮の下、国連司令部等と派遣施設隊との間における技術的対応等のアドバイス、案件形成のサポート等の技術的な支援調整業務に従事し、この度帰国したものです。

報告会では、国際平和協力業務の概要、UNMISS・現地支援調整所の概要、具体的な現地の活動状況及び派遣された技官の役割等について説明があり、本局、帯広支局、千歳防衛事務所及び北部方面総監部から80名を超える職員等が参加し、国際貢献活動への参加の意義等について熱心に聴講しました。

現地では、2名の技官で対応しているため、案件によっては、装備施設本部と連絡を取りつつ、同本部内に設置された技術支援チームの支援を得て派遣施設隊に対し技術的サポートを実施したのもあったといえます。

また、現地の状況は、国内の建設工事環境とは異なり、現地で入手・利用可能な資材の検討から始まり、派遣された技官自らが現地の建設資材の流通状況の調査を行い、作業工程に合わせて資材の調達計画を進めるなど技術的な支援調整業務を実施しました。このため、派遣された技官の活動は、総合建設マネジメント業務さながらの状況であったとの報告でした。

装備施設本部の担当者からは、当局の若手技官に対し、建設技術職員としての活動の場が世界に広がるとともに、国際平和協力隊任務の作業内容は、国内における通常の施設建設業務の延長線上にあり、これまでの施設建設業務で培った技術経験で国際平和構築に貢献できることから、臆することなく積極的に参加するようエールが送られました。



報告会の状況（北海道防衛局）



国連施設内雨水排水施設整備



帰還民の一時収容施設建設

活動の具体的な案件例

- 1 国連の参加各国の部隊が駐屯する国連施設内の雨水排水施設
 - ・ 勾配のない地形における雨水排水施設の整備計画のため、日本の技術力を大いに発揮した排水計画を立案
- 2 帰還民の一時収容施設建設（UNHCR：国連難民高等弁務官事務所）
 - ・ 隣国からの帰還民が一時的に滞在する木造平屋建て2棟の建設に関し、設計支援を実施するとともに、材木の品質や調達及び組立てについて、隊員と共同作業の中で技術力を発揮

※今後の事業

道路整備：日本の活動の中でも一番大きな案件となる可能性

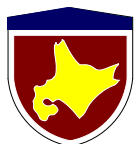
派遣技官の役割

- 1 派遣施設隊の活動に対し、技術的な問題点や対応策をアドバイス
- 2 部隊の装備品や施工能力を考慮し、UNMISS、国連機関、現地政府等と技術的調整を行い、南スーダンの国造りの案件形成をサポート
- 3 専門的な設計が必要な部隊の活動に対し、設計支援を行い、計画から施工までの技術面をサポート



帰還民の一時収容施設引渡し式典
（派遣技官の折り紙による文化交流）

※ 国連南スーダン共和国ミッション UNMISS：United Nations Mission in South Sudanの略で、平成23年7月に平和と安全の定着及び南スーダン共和国の発展のための環境の構築の支援等を目的として設立され、主たる任務は、平和の定着並びにそれによる長期的国造り及び経済開発に対する支援等を行うこと。



南スーダン派遣施設隊（第2次要員）帰国

～ 国造りの第一歩・任務完遂 ～



新千歳空港での家族との再会



岩見沢駐屯地での出迎え

南スーダン派遣施設隊（第2次要員）約330名の隊員は、現地における任務を完遂し、先発隊が平成24年11月20日に、第1波が12月5日に、第2波が12月19日に、それぞれ日焼けした顔で北海道に帰ってきました。

新千歳空港及び各駐屯地では家族、上司・同僚、協力団体など大勢の人が出迎え、派遣隊員は、任務を完遂し帰国した実感と久々の家族との再会に笑顔で喜びをかみしめていました。

派遣期間は、約半年間ですが、第1次要員から参加した北部方面施設隊第12施設群（岩見沢駐屯地）などの隊員は約8か月、最長で11か月となります。

現地における活動は、マラリアなどの感染症に注意を払いながら、連日40度を超える酷暑に耐え、雨期をものともせず、南スーダンの「国造り」に全力で取り組みました。

第1次要員は宿営地を整備するほか、道路工事等の軽易な施設作業を行い、第2次要員が道路整備（簡易舗装・排水溝敷設）、ジュバ国際空港駐機場整備、帰還民の一時収容施設の建設など本格的な作業を実施し、日本の代表として南スーダンの「国造り」の第一歩を成し遂げました。

第11旅団（旅団長 有吉 陸将補）では、12月21日に真駒内駐屯地において帰国報告会を実施しました。帰国報告会には派遣隊員、派遣隊員家族、関係部隊長、協力団体の方々に参加するほか、内閣府副大臣、防衛大臣政務官等が出席しました。

報告会では、隊長 松木 2佐が任務完了報告を行い、特別賞状・国際平和協力本部長表彰の伝達、防衛大臣政務官訓示、旅団長訓示及び札幌地方隊友会会長の慰労の言葉を受けました。

報告会に引き続き慰労会食を行い派遣隊員及び留守を守った家族の労をねぎらいました。



帰国報告会における派遣隊員（真駒内駐屯地）



特別賞状の伝達を受ける 松木 隊長

北部航空方面隊総合演習

～ 部隊任務遂行能力の向上を図る ～



防衛力は、外部からの侵略を未然に防ぎ、また万一侵略を受けた場合、それを排除する国の意思と能力を表すものです。その機能は、他のどのような手段によっても代えることはできません。その中において航空自衛隊の防衛力は、戦い全般の行方を決める大きな力です。空において相手の戦力を上回り、大きな損害を受けることなく作戦を遂行する（これを「航空優勢」と呼びます）ための中心的な役割を担っています。「航空優勢」は陸・海作戦にも大きな影響を与えるものですから、その意味で航空自衛隊は、日本の防衛の「鍵」といえます。また領空へ侵入してくる航空機へ戦闘機を緊急発進させるなどの措置は、他の組織が代わることのできない大切な役割です。航空自衛隊千歳基地は、日本の平和と安定、そして独立を守るため、日夜、任務を遂行しています。

平成24年11月22日から25日の間、航空自衛隊千歳基地所在の北部航空方面隊隷下部隊は、平成24年度北部航空方面隊総合演習に参加しました。

この演習は、作戦準備段階から武力攻撃事態対処段階までの各種能力の向上を図ることを目的に行われ、演習期間中は、不法航空活動対処、再発進準備、最大兵装、戦術攻撃、基地防衛及びサイバー攻撃対処の6項目の訓練が行われました。

中でも、4日間昼夜を通して行った基地警備訓練をはじめ、滑走路被害復旧及び捕虜等の取扱い等、本番さながらの緊迫した訓練が行われました。

演習では、日頃の訓練成果を十分に発揮し、部隊の任務遂行能力の向上を図りました。



昼夜を通して行われた「基地警備訓練」



飛行場地区で行われた「不法航空活動対処」

陸自第2師団 司令部新庁舎落成



平成24年11月15日、平成22年から建設が進められていた陸上自衛隊第2師団司令部新庁舎が完成し、落成式が行われました。

この新庁舎は、名寄国道（国道40号線）からも目に映ることから、国道に面して建つ北鎮記念館と現在建設中の旭川地方協力本部庁舎との一体感を考慮した重厚な色彩デザインとしました。

これら3施設の外観には、れんが建物であった旧陸軍兵器庫をモチーフに、赤れんが調の色彩を採用し、自衛隊施設としての重厚さを表現するとともに、周辺地域の景観との調和を考慮しました。

司令部新庁舎には、北鎮部隊の愛称をもって旭川市民に親しまれた旧陸軍第七（しち）師団以来の伝統を継承すべく、玄関ホール床には北海道開拓使と同様の「五陵の北辰星（北極星）」のデザインが、車寄せのひさしには「北鎮」の文字が表示される一方、先進部隊司令部としての情報・作戦幕僚機能を合同した部屋レイアウトや部隊実験等を統裁（統制・評価）する機能等を有しています。

式典では、来賓の歴代師団長や建設関係者等が見守る中、友部 薫 第2師団長と 島川正樹 北海道防衛局長が除幕式を行い、第2師団司令部及び司令部付隊員の新たな歴史を祈願しました。



北海道には自衛隊等が使用する演習場・飛行場など、数多くの防衛施設が所在しています。これらの防衛施設は自衛隊等の活動の基盤として、北海道はもとより我が国の平和を守る上で不可欠であり、そのため、周辺地域の皆様の理解と協力を得ながら円滑に使用していく必要があります。本誌では、防衛施設と周辺地域との調和を図るための様々な施策について、シリーズで紹介しています。

■ 調達部業務（その1）

調達部業務について、今回は調達部業務の概要と調達計画課の業務を御紹介します。

調達部業務の概要と管轄区域

調達部は調達計画課、建築課、土木課、設備課の4課から編成されています。

調達部の業務は、①自衛隊等が使用する建物等の建設工事の実施に関すること、②防衛の用に供する施設の工事に関する調査及び研究に関すること、③装備品等（装備施設本部の所掌事務に係るものに限る。以下同じ。）に関する業態調査及び価格の調査に関すること、④調達品（装備施設本部の所掌事務に係るものに限る。以下同じ。）及びこれに関する役務に係る検査（監督を含む。）並びに原価監査その他契約の履行に関することを行っています。また、帯広防衛支局では、これらのうち、①と②の業務を建設課及び建設計画官で実施しています。

北海道防衛局の建設工事の実施に関する業務管轄区域は、上図に示すように北海道を南北に貫く北見山地～大雪山系～日高山脈を境にして、東部と西部を本局と帯広支局で分担しています。

管轄区域面積は、本局が全道面積の約60%に当たる約50,534 km²、支局は全道面積の約40%に当たる約32,923 km²となっています。

北海道は、我が国防衛上の重要な地域であることから、道内には陸上自衛隊第2・第7師団、第5・第11旅団、第1特科団、第1高射特科団、北部方面施設隊等、海上自衛隊大湊地方総監部隷下の函館基地隊・余市防備隊・稚内基地分遣隊等、航空自衛隊第2航空団等、技術研究本部札幌試験場等が配置されています。

これらの施設の約4分の1は、札幌・恵庭・千歳地区に集中していますが、北海道の地政上の特性から、東西南北端にも所要の部隊等が配置されており、当該施設は本局及び支局の所在地から遠隔の地にあることから、縦深広大な区域の中で職員が建設工事に係る調整、監督、検査業務に携わっています。

調達計画課の業務

調達計画課では、部の所掌事務に関する総合的な企画・立案及び部の所掌事務で他課の所掌に属しないもの、建設工事の実施計画等並びに装備品等に関する各種調査及び契約の履行に関する業務等を担当しています。

自衛隊等施設の建設工事に関する業務としては、発注計画の作成、部隊の要望を設計に反映させるための現地部隊との調整、限られた予算で建設工事を執行するための予算管理、建設する目的物を各種法律等に適合させるため、審査機関である地方公共団体との調整業務を行っています。

当局が発注する建設工事等に関する①発注の見通し、②入札公告、③入札結果等の各種情報については、北海道防衛局のホームページで公表しており、当該年度の工事・業務の発注の見通しについては、毎年4月に公表し、変更等については7月、10月、翌年1月に公表しています。



【北海道における建設工事の実施に関する業務の管轄区域】

ホームページのURL（アドレス）は次のとおりです。

(<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/nyuusatsu/index.htm>)

工事目的物の品質確保を図る等、施設取得の円滑な推進に資することを目的に、平成21年度からは、当局が発注する建設工事等に関し、工事等の目的物の出来形又は品質の優れているものであって、他の模範とするにふさわしいものを優秀工事として選定し、その契約者を顕彰しており、今年度は平成23年度に完成した建設工事等から、3工事及び1技術者が選定され、調達部長から顕彰状が贈呈されました。

また、装備品等に関する業務については、本局が北海道全域を担当し、装備施設本部（市ヶ谷）において契約の後、北海道内の工場において製造される調達品の監督・検査業務を主に行っています。

建設計画のアプローチ： 新・自衛隊札幌病院の建替計画の紹介

より機能的な自衛隊施設の建設計画の一例として、新・自衛隊札幌病院の建設計画を紹介します。

自衛隊札幌病院は、昭和30年に陸上自衛隊豊平駐屯地に開院された北海道地区唯一の自衛隊病院です。平成19年には、保険医療機関に指定され、一般の患者も受け入れています。現在の自衛隊札幌病院は、経年劣化による施設の老朽や最新医療をスムーズに導入できないなどの問題が浮上したため、陸上自衛隊真駒内駐屯地に、新・自衛隊札幌病院を建設することになり、平成23年度から建設工事に着手しています。

建築規模は地上6階、地下1階、延床面積約22,400㎡。内科、外科、整形外科、歯科、産婦人科、小児科及び救急科等、計16診療科を配備した診療処置部門を持ち、計200床の病室を配備した総合病院です。

新病院の特性である災害時における拡張性の確保としては、各病棟及びその他の機能室で200床から400床へ増床可能となる平面計画や、これに必要な医療ガス等のパイピング等付帯設備設置の整備、新型インフルエンザ対処等院内感染予防対策として、排換気設備、発熱外来者を病棟へ直接搬送できるエレベーターの設置、大量患者受入れ時の患者と医療スタッフの別動線の確保等を兼ね備えています。

また、災害に強い施設として免震構造の採用や、エネルギー源確保の多重化を行うとともに、公共施設としての環境負荷削減についても配慮した設計となっています。

病院の基本理念である「心の通う、信頼される病院」を形にした新・自衛隊札幌病院の開院は平成27年春の予定です。



※ 次回は調達部業務（その2）として、建築課・土木課・設備課の業務を御紹介していきます。

千歳防衛事務所だより

～ 花園コミュニティセンター・オープン～

平成24年11月1日、千歳市内で12館目となる花園コミュニティセンターがオープンしました。

この施設は、近隣地域住民の交流拠点となる施設として、平成23年度から建設を進めていたもので、鉄筋コンクリート2階建て、延べ床面積約1400平方メートル、北海道防衛局の民生安定施設整備事業として建物の補助、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業として駐車場の整備を行っています。館内はバレーボールなどのスポーツも可能な集会室のほか会議室を設けており、施設の特徴としてバリアフリーに対応し、自動ドア、エレベーター設置等、災害に備えるため、防災備品庫、屋外簡易トイレ対応マンホール設置、環境負荷の低減に配慮し、太陽光発電システム、LED照明を設置するなど、昨今求められる機能を備えた施設となっています。

当日の式典では、山口千歳市長が「施設を中心に地域の交流が広がることを願う」と挨拶を述べられた後、千歳市担当者の説明による内覧会が行われ、当局からは多賀千歳防衛事務所長が来賓として出席しました。

現在、同施設は、町内会等の行事でほとんど空きがないほど多くの方に利用されており、市民の方々から好評を得ています。



完成した花園コミュニティセンター

北海道内の防衛施設

道場巡り ～日本最北の道場～ 鬼志別演習場（猿払村）

防衛施設は、演習場、飛行場、港湾、営舎など用途が多岐にわたり、広大な土地を必要とするものが多くあります。日本の国土面積の約20%を占める北海道には、日本全国の自衛隊施設面積の約42%を占める約459Km²の各種施設が配置されています。

これら施設の中には、日本一の規模を誇る矢野別演習場をはじめとして、大小57の演習場、訓練場、射撃場が存在します。北海道内の主要な演習場等においては、道内の部隊のみならず、日本各地の部隊が来道して、火砲、戦車等による射撃訓練や、協同転地演習などの様々な訓練を実施しています。

まさに北海道の演習場等は、日本各地の陸上自衛隊の「道場」として、部隊練度の向上に寄与しています。全国各地の部隊は、ここ北海道の道場で鍛え上げられ、日本の各地で防衛の任務に従事しています。北海道の大地は、全国の陸上自衛隊を育ててくれる大切な道場であり、訓練の場なのです。

本シリーズは、日頃なかなか目に触れることの少ない防衛施設にスポットを当て、皆様に御紹介するものです。

陸上自衛隊 鬼志別演習場は、北緯45°に位置する、日本最北の演習場です。

同演習場は、北海道に所在する主要な演習場の一つであり、北海道の最北端に近い「日本最北の村」猿払村北端に位置し、標高80m前後の丘陵地帯で一面を熊笹で覆われ、東にはオホーツク海を望みます。

冬季には、南極のブリザードを思わせる吹雪の日もあり、降雪量は並年100cm前後、2月から3月にかけて流氷が接岸すると冷え込みが強くなり、最低気温が氷点下20度以下の厳寒の日もあります。

同演習場は、昭和35年に村・民有地を購入して設置され、現在、廠舎6棟及び管理事務所が整備されています。土地面積14平方Kmを有する中規模の演習場であり、名寄駐屯地業務隊が管理しています。

年間を通じ、主に第2師団管内の部隊に利用され、射撃訓練、爆破訓練、築城訓練のほか、各種戦闘訓練、冬季積雪地訓練（スキー・スノーモービル訓練）等が実施されています。また、海に近く高低差がある地形を生かした沿岸監視訓練も行われています。



冬季積雪地訓練の様子（写真提供：名寄駐屯地）

防衛施設所在の首長さんからのメッセージ



猿払村
巽 昭 村長

猿払村は、北海道の北部に位置する人口約2,800人の村です。

基幹産業は酪農と漁業で食料基地「北海道」の一翼を担っています。特に「ほたて」は、開村のきっかけとなるほどの豊富な資源でしたが乱獲で昭和39年に枯渇してしまい、村の存亡をかけ、昭和47年に村税収の50%を投じ、育てる漁業への転換を図りました。その結果、昭和49年の1,674tを最初に、毎年約45,000tの水揚げを誇る「ほたて王国」となっています。

その豊かな海を望む道の駅「さるふつ公園」には、昭和14年12月12日に浜鬼志別沖合で暴風雪により座礁・転覆した旧ソ連貨物船の遭難者702名を慰霊する「インディギルカ号遭難者慰霊碑」があります。これは村民やソ連の漁船員からの浄財をもとに国際親善と海難防止の願いを込め建立されたものです。

村最大のイベントは、7月第3日曜日に開催される「さるふつ観光まつり」で、特産品の販売、魚のつかみ取り、凧揚げ、花火大会等が行われます。ぜひ、自慢の幸を御賞味下さい。

また、猿払村自衛隊協力会を中心に、鬼志別演習場廠舎を会場として装備品展示や車両試乗、戦闘糧食の試食会などが行われており、今後も村民と自衛隊との交流を深めていきたいと思っております。



（さるふつ観光まつり：猿払村提供）

防衛省の移転措置事業に関するお知らせ

～附帯農地等の買入年限（希望届の受付期限）の設定について～

はじめに

- 防衛省では、移転措置事業として、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律（昭和49年法律第101号）第5条の規定に基づき、飛行場などの周辺において航空機騒音が特に著しい地域として指定した区域（第二種区域）から住居等を移転したいと希望する方に対し、建物等の移転補償や土地の買入れを実施しており、演習場周辺においても同様の事業を実施しております。

背景

- 当事業の土地の買入れのうち、「建物等の移転に伴い、従来利用していた目的に供することが著しく困難となる土地」（以下「附帯農地（※）等」といいます。）の買入れについては、自宅を移転した後、数十年経過して附帯農地等の買入れを希望された場合、当該附帯農地等が従来利用していた目的に供することが困難になった理由が、移転によるものか経年の事情によるものか判断し難いケースが生じていたところ。

※附帯農地：従来、自宅から通農していたが、自宅の移転により通農することが著しく困難となる農地

- このため、国の事業の点検等を行う平成22年度行政事業レビュー・公開プロセスの場において、「住居移転後の附帯農地買取年限に上限を設けることを検討すべき」等の指摘を受けたことから、平成24年12月19日から、附帯農地等の買入年限（希望届の受付期限）を設けることとしたものです。

設定概要

- 施行日（平成24年12月19日）以降、附帯農地等の買入れに係る希望届の受付期限は、原則として、以下のとおりとなります。（受付期限までに希望届の提出がなければ、附帯農地等の買入れを実施することができなくなります。）

①施行日（平成24年12月19日）以降に建物等の移転等補償契約を締結した方の受付期限：
建物等の移転等補償契約締結日の翌日から5年を経過する日

②施行日（平成24年12月19日）より前に建物等の移転等補償契約を締結した方の受付期限：
平成29年12月19日

【受付期限設定のイメージ図】

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
①施行日（平成24年12月19日）以降に建物等の移転等補償契約を締結した方		▼移転契約日の翌日				受付期限▼
← 5年（検討期間 + 転業に通常必要とする期間） →						
②施行日（平成24年12月19日）より前に建物等の移転等補償契約を締結した方		▼施行日の翌日（平成24年12月20日）			受付期限（平成29年12月19日）▼	
← 5年（周知期間 + 転業に通常必要とする期間） →						

注：建物等の移転等補償契約の締結日以前に、附帯農地等の買入れに係る希望届を提出していただくことも可能です。

- **附帯農地等の買入れを希望される場合は、受付期限までに希望届を御提出していただく必要がありますので、下記問合せ先まで御連絡下さい。**

留意事項

- 次に掲げる事情により、希望届を受付期限までに提出できなかった場合は、当該各項目に定める書類の提出があれば、**受付期限後も希望届を受け付けることができる場合があります**ので、御相談下さい。

- 相続権者間での遺産分割協議中による所有権の未確定
→ 遺産分割協議書及び登記事項証明書
- 所有者の傷病又は入院
→ 診断書又は入院期間を証明する書類
- 代替農地の土地改良
→ 代替農地の登記事項証明書及び土地改良に関して農業委員会等が証明する書類
- その他社会通念上やむを得ないと認められる事情
→ 当該事情に応じて必要と認められる書類

- 附帯農地等の買入れについては、当事業による移転に伴って従来利用困難性が認められる土地のみが対象となりますので、御希望された土地を必ず買入れられることは限りません。

自衛官等募集案内

詳しくは最寄りの自衛隊地方協力本部にお問い合わせください。
 札幌 011(631)5472 函館 0138(53)6241
 旭川 0166(51)6055 帯広 0155(23)5882

募集種目	自衛隊の“経験”を 社会で生かそう! 自衛官候補生(男子)	自衛隊未経験者の “体験”コース! 予備自衛官補(第1回)	自衛隊の“大学” (文系・理系)で学ぼう! 防衛大学校学生一般(後期)	9,000名の “リーダー”を目指そう! 一般幹部候補生		
応募資格	18歳以上27歳未満 <small>(採用予定月の1日現在)</small>	一般公募 18歳以上 34歳未満 <small>(25年7月1日現在)</small>	技能公募 18歳以上 資格により53歳未満 ~55歳未満 <small>(25年7月1日現在)</small>	高卒(見込含) 18歳以上21歳未満 <small>(25年4月1日現在)</small>	大卒程度試験 20歳以上26歳未満 <small>(見込含)</small> 22歳未満は大学卒 者及び自衛官は28歳 未満(26年4月1日現在)	院卒者試験 修士課程修了者等で 20歳以上28歳未満 <small>(26年4月1日現在)</small>
試験期日	25年1月27日(日)・28日(月) 2月16日(土)・17日(日)・23日(土) 3月2日(土)・3日(日)・9日(土)(予定) ※試験会場等はお問い合わせください。 ※年度採用計画数に達した時点で、 以降の試験を実施しない場合があります。	25年4月12日(金) ~15日(月) (いずれか1日)	※一般(後期)は、防大入試改革により、 本年度新たに導入された募集日程です。 試験科目や会場等、一般(前期)と異なる 点がありますのでご注意ください。	第1次: 25年3月 2日(土) 第2次: 25年3月15日(金)	第1次: 25年5月11日(土)・12日(日) <small>(12日は飛行乗員のみ)</small> 第2次: 25年6月11日(火)~14日(金) <small>の間の指定する日</small> 第3次: 25年7月8日(月)~8月8日(木) <small>(飛行乗員のみ)</small> <small>の間の指定する期間</small>	
受付期間	第4回: 12月1日(土) ~25年1月10日(木) ※受付期間は概ね試験日の1カ月前 ~1週間前となります。	25年1月9日(水) ~4月 3日(水)	25年1月23日(水) ~2月1日(金)	25年2月1日(金) ~4月26日(金)		

募集コールセンター 0120-063792 365日 年中無休 12:00~20:00
 自衛官募集ホームページ <http://www.mod.go.jp/gsd/f/jiekanbosyu/> 自衛官募集 検索

平成25年度 国家公務員採用試験の日程

試験名		インターネット 申込み期間	第1次試験	第2次試験	最終 合格発表
大学(大学院) 卒業程度	総合職試験	4/1(月)~8(月)	4/28(日)	5/26(日)(筆記) 6/5(水)~14(金) (政策課題討議・人物)	6/24(月)
	院卒者試験			5/26(日)(筆記) 5/28(火)~6/14(金)(人物)	
	大卒程度試験	4/9(火)~18(木)	6/16(日)	7/17(水)~8/5(月)	8/21(水)

※上記以外の国家公務員採用試験の日程は、平成25年2月1日に人事院ホームページ等で周知される予定です。

防衛省では、平成23年度まで国家公務員採用試験とは別に、防衛省職員採用Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ種試験を行っていましたが、平成24年度から新試験制度が導入されたことに伴い、防衛省職員採用Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ種試験を廃止し、人事院が行う国家公務員採用総合職試験(院卒者試験、大卒程度試験)及び国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験、高卒者試験)の合格者から採用を行っています。

なお、防衛省職員採用Ⅱ種試験で行っていた試験区分「語学」及び「国際関係」については、引き続き、防衛省が行う防衛省専門職員採用試験の合格者から採用を行っています。

※詳細な日程等については、確定次第、防衛省のホームページに掲載します。

※問合せ先: 北海道防衛局総務部総務課人事係 〒060-0042 札幌市中央区大通西12丁目
 電話番号(011)272-7578 FAX番号(011)272-7561

2月~3月 道内自衛隊の主なイベント

(1月7日現在)

開催日	開催場所	イベント名	お問合せ
2月10日(日)	函館市民会館大ホール	航空自衛隊 北部航空音楽隊演奏会	函館地方協力本部 0138-53-6241
2月11日(月)	旭川市民文化会館	ウィンターコンサート	旭川地方協力本部 0166-51-6055
2月13日(水)	苫小牧市民文化会館	北海道防衛局 防衛問題セミナー	北海道防衛局地方調整課 011-272-7571
2月23日(土)	コンサートホール kitara	第11音楽隊 第15回室内楽演奏会	第11音楽隊 011-581-3191
3月 3日(日)	コンサートホール kitara	北部方面音楽隊 第69回定期演奏会	北部方面音楽隊 011-581-3191
3月16日(土)	苫小牧市民会館	第7音楽隊 第37回定期演奏会	第7師団広報・渉外班 0123-23-5131
3月 中旬	釧路市民文化会館	釧路自衛隊 ミュージックフェス	釧路駐屯地広報 0154-40-2011

注: 行事予定は都合により延期又は中止される場合がありますので、各問合せ先へ御確認願います。